

The Chiba Physical Therapy Association News NO.123 , December , 2005



千葉県理学療法士会 ニュース

<http://www.kit.hi-ho.ne.jp/pt-chiba/>

県士会ニュース代表メールアドレス：pt-chiba@kit.hi-ho.ne.jp

INDEX

- ・ 会長報告 P 1
- ・ 第23回関東甲信越ブロック学会報告 P 1
- ・ 全国都道府県PT士会会長会議報告 P 1
- ・ 平成17年度関東甲信越ブロック士会会長協議会総会議事録 P 3
- ・ 平成17年度第4回理事会議事録 P 4
- ・ 日本PT・OT協会設立40周年記念式典参加報告 P 5
- ・ 学術局便り～ 「プレコングレスについて」 P 5
- ・ 社会局便り～ 平成18年診療報酬介護報酬W改正にあたり P 6
- ・ 公益事業推進リーダー研修会報告 P 7
- ・ 第1回千葉県民禁煙推進大会報告 P 7
- ・ 理学療法士の活躍分野の拡大と「起業」について P 9
- ・ 「第9回生活環境支援系理学療法研究会」のご案内 P 8
- ・ 求人広告など P 9

■ 会 長 報 告 □

会長 吉田久雄

晩秋の頃となりました。

季節は静かに進んでいますが、来年4月からの診療報酬改定と、介護報酬改定に向けた作業も深く静かに進んでいます。

ときおり世間の反応をうかがうかのごとき情報が現れては消えていくこのごろです。理事会でも協会や他団体からの情報を交換していますが、どれも確実性に乏しいため、会員の皆さんには士会理事会情報としては提供できませんでした。そのようななか、協会がHPの中で情報を出していますのでぜひご覧ください。

国の社会保障が限られた財源のなかでの運用のため一人当たりの金額を減らす方向にあるのはあながち間違いではなさそうです。

いままで医療分野での対応であったものが、介護分野での対応へとシフトしてゆくこともありうるこのようです。

さらに医療分野でも、自己負担がさらに増すことでしょう。

医療と福祉の境にあるリハビリテーションは、やりだまにあがりそうです。

理学療法士に向けられている「目」はさらに鋭く、厳しくなることは間違いないことと思います。

どうか生き残れる理学療法士となってください。

また、養成校が増えています、一方大学を目指す学生は減少の一途を進んでいます。質の保障が大変な時代です。

生き残れる理学療法士目指し、日々認識を新たにすすんでいきたいと思っています。

H18年2月開催の県学会は暖かい鴨川で行います。村永学会長・新井準備委員長のもと準備が進んでいます。

学会では、診療報酬・介護報酬改定の情報も提供します。

ぜひ鴨川学会でお会いしましょう！

■ 各 種 会 議 報 告 □

◎全国都道府県PT士会長会議報告

1、診療報酬改正の件

【現状報告】

一部団体から提出されている「リハビリテーション料」をPT以外の職種が請求できることについて、国(厚生労働省担当課長)に意見の具申を行っている。

10月半ばに開催される「中医協」でリハの話が行われる予定である。

この3ヶ月間、月複数回にわたり担当官と折衝を行ってきた。

その資料は今回の全国士会長会議資料(事務局にあります・吉田)に掲載しところである。また昨日も会長が担当課長から連絡を取るよういわれ連絡をとった。

担当課長は「国の案ではない案なのでいろいろな行動はしないように」との意見であった。協会としては国民の皆様には「理学療法は理学療法士で、国民の健康・医療・福祉を守るために、国が資格を尊主すること」を趣旨とした署名などのアクションを起こすことも考えている

現在の状況は、施策は立法府である議員によってなされるという流れになりつつある一方当協会は学術団体であるため議員への働きかけなどにおいて行動がとりにくい現状があることを理解していただきたい。

さて、会議では、協会が国に提出した資料(9月29日付)が添付されました。協会HPにアップするとのことです。

2、役員講習会報告

「政治連盟の意義と必要性」

日本看護連盟常任理事・南野法務大臣秘書

石田 昌宏 氏

役人は「正しいことでも、政策に反映するとは限らない」。

役人の優先順位がある。立法(議員)の動きを見ている。

年間に立法できる法律は200本、現在3000本前後の法律がある。

議員を持っている団体は、意見を反映しやすい。

現在看護連盟は10億の予算があるが、会員講習会で6億、連絡など1回行くと1億事務所人件費などで3億弱、よって献金などはあるとはいえないぐらい。

等の講演と質問への返答があった。

3、その他

・災害被害対策

今回、宮崎県士会が事務局としている宮崎リハ学院が水害にあい、全国各士会から送られてきた資料がダメになった。

できれば過去1年間の各士会が発送している資料を送付してもらえない

だろうか。とのことである。

会長から、学校も被害をうけ機材が使えなくなったとの報告を受けている。学校または士会のHPでどのような機材が欲しいかアップするので問い合わせしてほしい。とのコメントがあった。

・「運動器の10年」について
整形外科団体から、今後PT団体に協力があるので対応をお願いしたい。

・協会40周年記念行事
28日の式典への参加をお願いしたい。

・会員証の件
スケジュールが遅れているが、来年度から導入への行動をとりたい。
賠償保険は金額的にあわないので、取りやめる方向である。
以上です。

さて今回の会議は診療報酬がメインでありました。

前回と異なり、協会本部もいろいろ動いています。もっとも官僚の立場が異なっているためでしょうか?各団体の意見を聞く姿勢が出てきていますが、聞くだけで政策に反映させるには、政治力がないといけないようです。

議員の力(国民の監視?)が強くなってきていることが反映されているようです。政治力がないのは痛い(ただしそれだけではいけません)。

緊急に署名活動を行うことがあるかもしれません。そのときは宜しくお願いします。

◎関東甲信越ブロック士会長協議会報告

会長 吉田 久雄

9月17日に開催されました第62回関東甲信越ブロック士会長協議会報告の議事録を掲載し報告とします。

平成17年度(第62回)関東甲信越ブロック士
会長協議会総会議事録

日時 平成17年9月17日(土)
pm3~5:30

会場 ロイヤルガーデンホテル

出席者

金子操(会長・栃木県) 吉田久雄(副会長・
千葉県) 神内擴行(神奈川県)

高橋輝雄(東京都) 佐々木和人(埼玉県)

佐藤弘行(茨城県) 深川新市(新潟県)

谷村英四朗(山梨県) 深町秀彦(長野県)

高橋哲也(群馬県)

相談役 長沢寿昭 井上保

第24回学会 橋田学会長 小林準備委員長
宮尾事務局長

第25回学会 清水準備委員長 坂本総務部
長 佐藤企画部長 内田演題審査部長

議 題

1、第24回学会報告(山梨県士会)

- ・基調講演担当講師の変更 奈良先生
→内山先生
- ・学会誌発送に一部トラブルがあった。
各県でどれだけトラブルがあったか
連絡が欲しい(今後にそなえて)
- ・来春リハ受験希望の高校生の学会参加
を認めた。
- ・その他

2、第25回学会準備報告(神奈川県士会)

資料に基づき報告があった

- ・期日 H18年9月9日(土)~10日(日)
2日間
- ・場所 パシフィコ横浜(みなとみらい)
- ・プログラム案
- ・講演2題 特別講演1題
- ・準備委員会組織

- ・予算案
- ・演題登録方法について
- ・Web登録及び査読者について

討 議

- ・Web登録について 今後のことを考え各
県10題以上の登録を行う
(100題以下だと今後使えなくなるため)
- ・学会参加費について 現在5000円であるが、
6000円の根拠について
神奈川県から2日間の学会になること
も考慮するが、その後の対応については別
途協議することになった。
- ・予算案について 再度提出となった。
- ・プログラムについても再考の余地があるの
ではないかと指摘された。
- ・査読者について 神奈川県は現行(学会
担当の県が決めた基準で行う)で、その後
は別途協議することが打ち出された(神奈
川学会では間に合わないため)

3、第26回学会の承認

- ・長野県士会の担当が承認された

4、平成17年度事業計画、予算案について

- ・いずれも承認された。
(今回協会からのブロック援助金が30
万増加したことが報告された)

5、協議会役員改選について

始に

- ・新しく学会担当委員会を設ける
- ・規約担当に副委員長を設ける
ことが提案され承認された。

役員改選について

- ・現行体制で引き続きおこなうこと
- ・新担当として
規約委員会 副委員長に 深川新市

先生が選出された。

学会委員会 委員長 神内擴行先生
副委員長 佐藤弘行先生
が選出された。

6、診療報酬関係

- 金子協議会長が19日に行われる協会の会議の内容をみることとなった。
(多くの議論がなされたが)

7、その他

協会への要望として

- 天災による、協会員の被災状況の把握と見舞い・支援活動について
協会の対策・具体的な対応が不明であることに対して、目に見える対応を行うよう要望することとなった。
- 各県士会事業計画および報告
長野県士会、栃木県士会、群馬県士会、山梨県士会より資料の提出があった。

追 伸

会議開始前に、協会40周年担当の瀧野先生より、来るH17年10月28日開催の「設立40周年記念講演・記念式典・祝賀会へのご案内」と出席および事前会費納入の依頼があった。
会費 20000円

【感想】

協議会自体の運営が変化しなければならぬ時期にきました。
新しく、学会委員会を設けました。
協会と異なり対応能力に自由度がありますがコップのなかの変化でもあります。
さて、診療報酬改正に伴う動きについて、いろいろな情報が錯綜しており、正確な情報が会議の時点でもありませんでした。

また、これらが出てきた経過のよくわかりません。しかしながら根っこのところは、国の社会保障を破綻なく運営してゆくためにはどのようにするのが厚労省内で議論され、一方予算の拡大がない中での適正化の問題が絡んでおり、ただ我が団体が「反対」と叫んでいても、また利害関係団体間で議論しても路は開かないようです。かといって守りの姿勢だけでは奪われるだけともいえます。自分たちの身は自分たちが守るのは当然です。その方法として多くの選択肢があることは有利です。

今後打ち出されるであろう協会の方針を待ちたいと思います。

◎平成17年度第4回理事会議事録

日時：平成17年10月26日(水)

場所：千葉コミュニティーセンターB1

出席者：

<理事>吉田(久)、井田、西山、宮崎、藤井、村永、石塚、吉田(昌)、江澤
<欠席>茂木、渡辺(良)

<書記>坂本

<各局報告>

事務局

会員動向 施設数：311施設

会員数：1307名(内、自宅会員113名)

社会局

研修案内

1)医療環境とリスクマネジメント

日 時 平成17年11月24日(水)

場 所 ペリエ6F

参加費 無料

詳細はみつわ台総合病院リハ科 井田まで

2)介護予防研修会

日 時 平成17年11月27日(日)

10:00~16:30 (9:30開場)
場所 千葉県教育会館本館303会議室
参加費 1000円

<議題>

1、全国士会長会議の件
平成17年度全国都道府県理学療法士学会
長会議が行われその報告があった。

日時：10月6日(木) 13:00~16:00

場所：名古屋国際会議場

会員証導入について、当初協会からは会員
管理機能・会費徴収機能(クレジット)
に賠償保険を付けたいと説明があったが、
今回金額が合わないと言理由で保険そ
のものを付けないと変更があった。しかし、
千葉県士会としては何らかの保険機能を
当初から付けてほしいと提案することが
了承された。

2、第11回千葉県理学療法士学会の件

村永学会長より詳細について説明があった。

会期：平成18年2月26日(日)

9:30~15:30

会場：亀田医療技術専門学校

テーマ：イノベーション

演題について

演題申込締切：平成17年10月29日

原稿締切：平成17年11月30日

その他：学会前日に亀田総合病院が企画し
た講義を、運営を学会と切り離し
た上で実施することが了承され
た。

3、事務所移転の件

11月5日(土)に移転にかかる工事が終
了予定。移転は11月中に行われる事が
了承された。移転費用や家賃・管理費等は
事務局総務部予算内で行われることが
了承された。移転後にADSLを導入する
ことが了承された。

次回理事会予定日 11月30日。

**◎社団法人日本理学療法士協会・社団
法人日本作業療法士協会 設立40周年
記念式典参加報告**

みつわ台総合病院 井田 興三郎

期日：平成17年10月28日(金) 午後3時~8時

場所：ホテルニューオータニ「鶴の間」

東京都千代田区紀尾井町4-1

第1部：記念講演 午後3時~4時

「わが国の理学療法士・作業療法士の将来像」

中村 隆一先生(東北大学名誉教授)

第2部：記念式典 午後4時~6時

両協会長式辞

祝辞 厚生労働省他

厚生労働大臣表彰

理学療法業務功労者 28名

作業療法業務功労者 7名

両協会感謝状贈呈 浅井 邦彦様他 35名

賛助会員 58社

第3部：記念祝賀会 午後6時~8時

千葉県士会からは、宮前監事・井田の2名が代
表として参加してきました。

30周年の時にも参加しましたが、その時と比
べて今回は、出席者数も500名程に増えており、
盛大な記念式典となりました。この10年間で
協会員も四万人を超えており、会場で協会の
発展とマンパワーの大きさを実感しました。
そしてこのままの勢いがずっと続いて欲しい
と心から思いました。

■ 学術局だより □

こ千葉県学会準備委員会より

「プレコンgresについて」

日程：平成18年2月25日(土)

テーマ：亀田におけるリハビリテーション事
業の現場と管理

内 容：

○運営管理(1)13:00～15:00

千葉県におけるリハ部門の管理者を対象に、
亀田でこれまで取り組んできたリハ部門に
おける仕組みづくりを紹介するとともに、
これからのリハ部門管理運営に何が求めら
れるのかを参加者ととも検討を行います。

○呼吸療法(2)13:00～15:00

米国呼吸療法士を取得したPTにより、講義
と治療見学等を行います。
内容は急性期を中心とし呼吸療法と呼吸理
学療法の役割、ICU症例見学等を予定してい
ます。

○施設見学(3)15:00～17:00

4月にオープンした亀田総合病院新棟・亀田
クリニック・亀田リハビリテーション病院
の施設見学を行います。

講 師：(1)村永信吾・(2)鶴澤吉宏

会 場：亀田クリニック、亀田総合病院

参加費：(1)・(2)2000円、(3)無料

定 員：運営管理15名程度、呼吸療法5名、
見学15名程度

申し込み方法：以下の項目を明記して往復ハ
ガキまたはE-mailでお願い致します。

(氏名、勤務先名、郵便番号、住所、電話番
号、申込パターンA～C)

応募者多数の場合は締め切り終了後に抽選
させていただきます。

申込みパターン

A：(1) + (3) 運営管理+施設見学

B：(2) + (3) 呼吸療法+施設見学

C：(3) 施設見学のみ

宿 泊：17:00ですべて終了となります。

必要な方は各自で準備お願い致します。

事務局：亀田総合病院

リハビリテーション室

担当：新井和博

〒296-8602 鴨川市東町929

tel：04-7099-1210

E-mail：k.arai@kameda.jp

締切：

申し込み期間：2006年1月31日

※この企画・運営は亀田メディカルセンタ
ーリハビリテーション事業
管理部で行います。

■ 社 会 局 だ よ り □

◎平成18年診療報酬介護報酬W改正 にあたり

医療保険部 吉田貴之
介護保険部 大塚 剛

平成18年の診療報酬改定が、介護保険との
W改正になっているのは皆様も承知のこと
と存じます。

この時期、様々な情報が錯綜しており、正確
な情報につかめていないのが現状です。

日本理学療法士協会のHPでは診療報酬改定
にあたりPT協会からの意見・要望書等も掲載
されております。

まずは個人的に情報の確認をしておいて下
さい。PT協会の意向にそぐわない改定につい
ては、意見・要望を出していきましょう。

平成18年2月26日(日)に開催される、
第11回千葉県理学療法士学会、定期総会に
おいても診療報酬改定の情報を皆様にお知
らせする予定です。

◎公益事業推進リーダー研修会報告

公益事業部 川村拓也

日時：平成17年10月29日（土）
・30日（日）

場所：日本理学療法士協会会館

主催：日本理学療法士協会
社会局公益事業推進部

出席：全国各県士会代表者 計47名

内容：

1. 「公益法人制度の改革について」
講師：中藤 泉 氏 内閣官房行革推進
事務局 公益法人制度改革推進室長
2. 「法人（化）と公益事業」
講師：小川 克巳 氏 社）日本理学療法
士協会理事
3. 「社会局公益事業推進部の役割」
講師：久富 ひろみ 氏
社会局公益事業推進部長
4. 懇親会・公益事業紹介
沖縄県（社団法人としての会員教育）
鹿児島県（予算に占める割合）
兵庫県（まつりと災害の経験・協力）
長野県（スポーツ活動）
5. グループワーク
公益事業の具体的内容、事業を企画する上
での課題や問題点、事業企画、発表

感想：

法人って何なのか、なぜ法人にこだわるのか私にはよく分からなかったのですが、法人になるということは私達の団体が社会からみて「ただの団体」から、国からのお墨付きを得た「対外的に強い団体」になることだったのです。法人には国民の利益に寄与していく責務があります。法人化された県では、会員の協力のもとで公益性のある事業（イベントなど）を実施しています。私達の専門職としての知識・技術をもってどのようなことが

公益事業としてできるのか、案を出し合って実践していくことが今求められていることのようにです。

◎第1回千葉県民禁煙推進大会報告

渉外部 井田 興三郎

日時：平成17年10月29日 15：40～18：30

会場：千葉駅ビル6階 ペリエホール

主催：千葉県、千葉県教育委員会、
千葉県医療推進協議会

テーマ：県民をタバコから守ろう！！

挨拶：千葉県知事 堂本 暁子

千葉県医療推進協議会会長 藤森宗徳

講演：『がんと一緒にゆっくりと』

絵門 ゆう子先生（元NHKアナウンサー・
エッセイスト）

：『今、なぜ「脱たばこ」が急がれるのか？』

中久木 一乗先生（タバコ問題を考える会
千葉代表・歯科医師）

：『タバコによって起こるいちばん怖い病気』

加濃 正人先生（鵬友会新中川病院
・内科医師）

感想：千葉駅ビルの6階の大ホールには、400のイス席が作られますが、それでも足りずに立って講演を聴いている人もいるほどに大盛況でした。禁煙問題にも県民の関心が高まっているので、この大盛況の元が「がんと一緒にゆっくりと」の作者の絵門ゆう子さんへの関心・共感である事が講演を聴いている内に私にも理解できました。その時に始めて知りましたが、絵門さんは、ガンの全身転移の患者さんで、最後の1秒まで与えられた命を笑顔で燃え尽きさせる事をご自分の色々な活動を通じて実践している人でした。世の中には、まだまだ素晴らし

く素適な生き方をしている人がいるのですね。私も理学療法士として毎日を一生懸命生きて行きたいと思いました。

◎理学療法士の活躍分野の拡大と「起業」について

業務推進部 井田 興三郎

10月26日の理事会開催時の会員動向では、会員数1,307名、311施設でした。

新人加入者が約100名で、例年の実績では3月末までにあと50名程の新人加入者が見込まれますので3月末の会員数は約1,360名程になると思われます。

現在、全国の理学療法士の累計は46,086名、協会の組織率は8割を割っておりますので未入会者の事も考慮すると千葉県内の理学療法士の有資格者は、約1,700名程になると思われれます。そして、その殆ど全ての人が使われている立場です。

しかし、少数ですが起業家となり独立して法人を開設し活躍している理学療法士の方がいます。

その方が、柏市で高齢者賃貸住宅の会社を起こしてその中で各種の介護保険関係の事業所経営されている渡辺氏、船橋市で訪問看護ステーションのオーナーとして起業・経営されている阪井氏です。お二人とも実業家としても理学療法士としても地域で大活躍されています。

医療・病院への就職は困難な時代になっております。

しかし、本来、医療分野で治療家としての理学療法士に開業権が有るならば、治療院開業となるはずですが、でも、医療分野で理学療法士が開業権を獲得して治療院を開ける可能

性は、現状でも、又、将来も極めて低いものです。

一方、福祉・介護保険分野においての理学療法士の開業は、人を雇い事業を起こして会社を経営する事、つまり、実業家となる事になります。

理学療法士の新分野を開拓され、成功されているお二人に続けと・・・私も介護保険の事業を興すために訪問看護ステーションの開設準備をしています。

今後、理学療法士が伸びて行かなければならない分野の事ですので順次報告をしていきますから、会員の皆さんも将来の自分の事として考えてください。

■ 各種インフォメーション □

●「第9回 生活環境支援系理学療法研究会」のご案内

●テーマ：「高齢者の転倒と足の機能」

●日時：平成18年1月28日(土)
9:30～16:30(予定)

●内容：<講演&ワークショップ>

- ・高齢者の転倒予防について、足の機能との関わりから見直す機会とする。
- ・日本にはない専門職であるPodiatrist(足病医)の観点から見た、高齢者の転倒予防の取り組みについて話を聞く。
- ・足の機能を高め転倒予防につながるインソールに関する知識を深める。
- ・簡便に作製でき、転倒予防に役立つようなインソールを試作してみる。

●会場：弘前大学医学部保健学科

●受講費：

協会員 3,000円(宿泊費、昼食代別)

●定員：30名(予定)

●申込方法：以下の項目を明記し「第9回生活環境支援系理学療法研究会申し込み」として、往復はがき、FAX、Emailのいずれかにて、下記までお申込下さい。折り返し連絡をさせていただきます。

(1) 氏名(ふりがな)、(2) 所属施設名、住所、電話番号、(3) 経験年数、(4) 会員番号、(5) 生活環境支援系研究部会登録の有無

●申込先：〒036-8564 弘前市本町66-1
弘前大学医学部保健学科
理学療法学専攻内 第9回生活環境支援系理学療法研究会事務局
FAX 0172-39-5981,
Email:ptyoshi@cc.hirosaki-u.ac.jp

●詳細な案内・情報は下記のホームページをご覧ください。

<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/pt/works-hop/9th/>

●締切：平成18年1月10日(火)

※ 次号のニュース原稿の締め切りは ※
※ 平成17年12月31日(土)です ※

千葉県理学療法士会ニュース
<http://www.kit.hi-ho.ne.jp/pt-chiba/>

発行人：吉田 久雄

発行所：千葉県理学療法士会事務局

〒260-0026 千葉市中央区千葉港2-1

千葉中央コミュニティセンター B1

tel & fax 043-238-7570

編集人：山下 祥司

千葉市立青葉病院 リハビリ科

〒260-0852 千葉市中央区青葉町1273-2

tel 043-227-1131 fax 043-227-2022

mail: JK8S-YMST@asahi-net.or.jp

理学療法士募集!

募集人数 1名(常勤、経験者)
(AKA-博多法を研修している方歓迎)
給与 200,000円以上
経験、能力により異なります。当院給与規定により優遇。面接の上、決定いたします。
勤務時間 平日 9:00~18:30
木曜 2:30~18:30
土曜 9:00~13:00
診療科目 整形外科、リハビリ科 リウマチ科
施設概要 無床診療所
応募方法 電話連絡の上、履歴書を持参ください。
施設見学及びご質問は電話またはメールにてご連絡ください。

※2006年4月より勤務希望の方要相談

〒276-0046 むらた整形外科(担当:採用係)
八千代市大和田新田9番地
TEL047-458-0078
e-mail:murataseikeigeka@kfx.biglobe.ne.jp
<http://www.murata-seikeigeka.com/>

理学療法学科・作業療法学科 専任教員 募集

募集人員：若干名

教育理念：「人間愛と自己実現」

教育方針：在宅での生活と療養を適切に支援できる理学療法士・作業療法士の養成

設置学科：理学療法学科・作業療法学科

昼間コース 3年制(各40名)

夜間コース 4年制(各40名)

応募資格：免許取得後業務経験5年以上の方

応募方法：電話連絡にてお問い合わせください
担当：二宮、山内

学校法人 福岡保健学院

八千代リハビリテーション学院

〒276-0031

千葉県八千代市八千代台北11-1-30

TEL 047-481-7320